

令和元年第16回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 令和元年11月5日（火） 於：第3委員会室

II 開会時間： 15時30分

閉会時間： 17時00分

III 出席委員： 教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 野田 洋二
委員 大川 佳郎 委員 妹尾 恵美
委員 加藤 正枝

IV 欠席委員：

V 出席者氏名： 教育次長 藤原 敬一 教育総務課長 三ノ上 創
学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉
社会教育課長 三宅 忍 教育サポートセンター事務長 妹尾 均
(書記) 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

令和元年第15回教育委員会会議（R1.10.24）の議決事項等について

教育長報告：令和元年9月定例市議会一般質問概要について

議 事：なし

協 議：なし

そ の 他：玉野市給食センター整備運営事業 優先交渉権者の決定について

他4件

(承認)

3. 教育長の報告 なし

4. 議 事 なし

5. 協 議

(1) 市立高校の今後（魅力づくり）について

- (学校教育課長) 資料により説明。
在り方検討会議からの意見書について、ざくばらんに話を伺う中で、教育委員会としての方向性を取りまとめていきたい。魅力化と適正規模化の2つの大きな柱があるが、本日は魅力化についてご意見をいただきたい。
- (野田委員) 高校卒業後、年月を経たときに「玉野は良かった」「玉野に帰りたい」と思って貰いたい、それには街全体が魅力的でなければならない。高校の魅力だけでは難しいと感じる。
- (妹尾委員) このような学校にしたいといった、生徒自身の主体的な意見をもっと入れてもよいと思った。また、商工高校の大きな魅力の一つは、大企業に就職できるチャンスがあることだと思う。大手に就職した卒業生が、中学生や保護者に体験を語る機会を作ってもよいのではないか。
- (大川委員) 卒業生が優秀であるなど、企業側から見た魅力が強くなるべきと思う。結果的に、就職が良くて、働きがいのある仕事に就けるといった、生徒に対する魅力に繋がる。
また、玉野に住んでもらうためにも、街の魅力作りにもリンクして行ければよいと思う。
- (加藤委員) 知人の子が機械科に第一志望で入学している。三井造船への就職を目指しているようで、この部分は大切にすべきポイントだろう。商工高校の生徒は、港フェスティバルのボランティアでも真面目に一生懸命働いているし、玉野市の将来についても素晴らしいビジョンを持っている。彼ら、彼女らの意見を聞く機会があればよいと思う。
- (石川教育長) ターゲットをどう捉えるかという話があった。一つは中学生や高校の生徒、もう一つは市も含めた出口の部分かと思う。
まずは高校の授業や活動、中学校との連携といった観点から、改めてご意見等あれば伺いたい。

- (野田委員) 中学生や保護者に、高校のカリキュラムをどれだけ理解して貰えるかだと思う。
- (学校教育課長) 高校のオープンスクールやパンフレット配布のほか、中学校では何校かの高校の先生を招いて説明会を開催しているが、現在は商工高校を呼ぶことを強制していない。
- (野田委員) 学校で何を学び、どのような就職に繋がるのか。商工高校から三井造船に何人も就職できることが定着すれば、入学希望者は増えるだろう。
- (石川教育長) 就職はまだ先だが、機械科で何を学べるかは見えてきている。中学校のキャリア教育に関連づけることができればと思う。
- (妹尾委員) 就職の決まった生徒が、3学期に中2を対象としたプレゼンを行えば、自身の勉強にもなってよいのでは。
- (野田委員) 中学校の教員が機械科の実習を見る機会はあるか。
- (学校教育課長) 年2回くらい持っている。
- (野田委員) 進路指導の教員が知らなければ生徒にも伝えられない。
- (学校教育課長) 委員の頭には機械科が大きくあるようだが、機械科よりも情報ビジネス科に課題がある。強く押し出していける部分が少ない。
- (学校教育課長) 今後、県立普通科高校を4パターンに分類する話があり、玉野光南は進学型、玉野高校は地域貢献型に分類されるとすれば、玉野高校と玉野商工が似た色になる懸念がある。
全国的にも商業科の存在意義が薄れてきている中で、学校の特色を出すためにも、商業と工業がコラボしたカリキュラムを模索している。
- (石川教育長) 次に、出口の部分での魅力化について意見を伺いたい。
- (大川委員) 4年ほど前に商業高校から新卒2名を採用した。今では立派な戦力で、親ほど年の違う社長とも堂々と話ができる。簿記などの基礎を始め、学校の教育の賜だ。
2人を採用したのは、10年前から実施している租税教室を通じて、商業高校の生徒に魅力を感じたからだ。例えば、地元企業向けの参観日を開催してはどうか。
- (石川教育長) 昨年機械科で実施した。機械科は今年も行うが、ビジネス情報科はどの部分を見て貰うかが難しい。
- (学校教育課長) インターンシップ受入れ企業に対して、発表会や課題研究の案内を出しているが、なかなか足を運んで貰えない。
- (大川委員) 学科は関係なく、磨ける可能性のある人材がいるかどうかだ。日時指定では無く、期間を設けていつでも見に行けるような、企業側に配慮したやり方も考えられる。

- (石川教育長) 備南高校に期待する部分はあるか。
- (大川委員) 現状は。
- (学校教育課長) 来年度から夜間定時制がなくなり、昼間定時制のみとなる。通級指導教室を持つ県下4校のうちの1つだ。
- (石川教育長) 備南高校のテーマとしては「学び直しが出来る学校」で、個別支援にも学校全体で取り組んでいる。
- (大川委員) 卒業生の状況は。
- (学校教育課長) 縁故も含め、基本的にほぼ全員が就職、進学出来ている。
- (大川委員) 商工高校のような、ビジネス関連の科目はあるか。
- (学校教育課長) 2単位ではあるが、基礎的な科目はある。
- (石川教育長) 夜間中学の充実が言われているが、学び直しという趣旨を考えれば、玉野市では備南高校がその役割を果たしていると思う。

6. その他

(1) 令和2年 年間スケジュールについて (調整)

- (教育総務課長) 資料により説明。

次回、教育委員会は令和元年11月26日(火) 15:30から第3委員会室で開催するので参集願います。以上で、第16回教育委員会を閉会します。

会議録調製者

書記

山内 祐樹



会議録署名委員

教育長

石川 雅史



〃

教育長職務代理者

野田 洋二

